



# 井上 道義の 未来だった今より

僕にはバレエをやっている妹が一人いるが、今回はその兄妹ではなくて京大のオーケストラの話だ。

来年、25年ぶりに京都大学のオーケストラと、交響曲の中で歴史上の白眉の作品「マーラーのシンフォニー第9番」をやる。京都コンサートホール(1月17日)、大阪ザ・シンフォニーホール(19日)、東京サントリーホール(22日、完売)での3公演に向かって練習中だが、大したもんだ。25年前は京響よりうまかった程で、学生だったメンバーも今、何人かはプロの音楽家として活躍しているし、音楽でなくともそれぞれ専門分野で中心的な仕事をしている日本の大学オケの代表だ。

オーケストラの世界は最近、バルリンやウィーンをはじめ女性進出が著しい。日本でも音楽大学のオーケストラは女性がほとんどだが、京大は男性も多い。その京大名誉教授で文化勲章を

## ♪ 兄妹?

受けた生物学者・岡田節人<sup>ふせんど</sup>さんは本気で音楽を愛した人だが、彼は大変興味深い視点で「演奏」というものを捉えている。「科学を学ぶ人間が減っていて嘆かわしい。科学や生物学ほど面白いものはないのに、その魅力を演奏してみせる人、すなわち生き生きと人に伝える能力のある人が少なすぎる」と。

どんなに内容のある学問でも、それが面白く血沸き肉踊るものであることを人に伝える才能、すなわち過去に創造された作品を、今作られたが如く演奏するように、人々にその専門分野の魅力を伝える才能ある人間が欲しい、とおっしゃって生命誌研究館の創設に尽力なさったのだ。

マーラー演奏の兄妹たちもそれぞれ自分が求め愛する専門分野のメッセンジャーとして世界に羽ばたくだろう。  
(オーケストラ・アンサンブル金沢)  
音楽監督

金沢大学では、新入生にPCを必携させ、ポータルサイト整備やネットワーク環境整備、学生・教職員支援体制整備に力を入れる。学生の授業理解度を効果的に高めるため、対面授業とeラーニングを組み合わせたICT(情報通信技術)活用教育の全学展開を進めている。

ICT活用教育の推進拠点  
が、「FD活動」を支援する全学的組織「FD・ICT教育推進室」だ。FDとは、ファカルティ・ディベロップメントの略。大学教員の資質向上や授業改善の取り組みをする動きのことだ。2009年には「金沢大



20

## 全学でICT活用推進



大学教育開発・支援センター 堀

学におけるFD活動指針」を策定している。  
05年度には「アカンサスポータル」の愛称でポータルシステム  
の学生  
シオン機  
テムを導  
お知らせ

いしかわスクエア